



森林文化都市
飯能市

飯能市 市勢要覧

〒357-8501
埼玉県飯能市大字双柳1番地の1
TEL 042-973-2111(代表)
平成31年3月発行
令和3年12月改訂



飯能市 市勢要覧

HANNO CITY

飯能市 市勢要覧

HANNO CITY



飯能市のいいところ

人と自然が共生する
飯能市の魅力を知ってほしい。

緑の山がたたずみ、清らかな川が流れ、
この地で培われた歴史と
新たに育まれる文化と
人のやさしさとあたたかさがある。
そんな飯能市のいいところを紹介します。

水 × 緑 × 人が出会う
森林文化都市はんのう

Meets! Hanno

Contents

P.6 飯能を楽しむ

[Enjoy Hanno](#)

P.34 飯能の暮らし

[Hanno Life](#)

P.46 飯能を知る

[Know Hanno](#)

P.54 飯能について

[About Hanno](#)



“余白と暮らす”—— 北欧に流れている

心地よいひとときを過ごせる



Enjoy Hanno 01

メッツァ

metsä

「メッツァ」は、北欧に流れているような心地よいひとときを過ごせる「メッツァビレッジ」とムーミン一家とその仲間たち、そして新しい発見との出会いが待っている「ムーミンパレーパーク」の2つのパークで構成されています。

「メッツァビレッジ」では、北欧の料理を楽しめるレストラン、北欧雑貨を購入できるマーケット、カヌーやワークショップなどのアクティビティ

も体験できます。

「ムーミンパレーパーク」はショーや展示、ムーミン物語に登場する灯台や水浴び小屋などさまざまなアトラクションがあり、ムーミンファンはもちろん、たくさんの人にムーミンの魅力が伝えられるテーマパークです。ムーミンの物語を追体験できる4つのエリアで、物語の魅力や原作者トーベ・ヤンソンの思いに触れてみませんか？

ムーミンと その仲間たちに会える!

「ムーミンパレーパーク」の「ムーミン谷エリア」では、ライブエンターテイメントが繰り広げられる「エンマの劇場」やキャラクターと写真が撮れる「ムイックフォト」でムーミンやムーミン谷の仲間たちに会うことができます。



© Moomin Characters™

トーベ・ヤンソン あけぼの子ども森公園

トーベ・ヤンソンあけぼのこどものもりこうえん
Tove Jansson Akebono Children's Forest Park

ムーミンシリーズの作者として名高いトーベ・ヤンソンの名を冠した公園。彼女の思いは公園のあちこちに散りばめられ、子どもも、大人も、生き物も、草花も、それぞれがお互いを受け入れ、自由に時間を過ごせます。北欧童話の世界に迷い込んだような不思議な建物や、周辺環境と融合した園内のロケーションが注目され、人気スポットとして広く知られています。

最近では、園内にカフェがオープンしたことやライトアップが始まったことなどが話題に。世代を超えて愛され続けています。



そのままの世界観!

園内につくられたカフェ「カフェビスト」も、北欧をイメージ。メニューには、市内農家が生産する野菜が使われるほか、店舗内外装に「西川材」を使用。北欧時間の流れるカフェです。



子どもも、大人も誰もが

自由に遊び、くつろげる空間です



関東屈指の
人気アウトドアスポット



Enjoy Hanno 03

飯能河原

はんのうがわら
Hanno Riverbank

浅瀬が広がり、川遊びやバーベキュー、釣り、ワンデイキャンプのスポットとして、多くの人でにぎわいます。

駅から歩いて15分ほどの場所にあるながら、深緑の木々や清流に親しめる空間が魅力です。

入間川が大きく蛇行してできた河原で、江戸時代に木材をいかだにして運ぶための拠点としてにぎわった場所でもあります。飯能河原のシンボル「割岩橋」のライトアップも話題です。

「割岩橋」のライトアップ

普段は赤い橋として知られる「割岩橋」を日没から22:00まで毎日ライトアップ。イベントごとに期間限定カラーのライトアップも実施中！



Enjoy Hanno 04

ノーラ名栗

のーらなぐり
Nolla naguri

「ノーラ名栗」は2020年8月に飯能の名栗地域にオープンした観光的視点を取り入れた北欧の雰囲気を感じられる観光複合施設です。名栗地区の森林を活用した観光、農林業、健康増進、教育、体験などに関する取り組みにより、人を結びつけ、地方創生に大きく資する、地域が主役となる拠点施設を目指しています。

「kokkoBBQ」(ココバーベキュー)では「ノーラ名栗」だけの北欧の食

事と地元産野菜など名栗の恵みが楽しめます。アウトドアサウナ「SAUNA CLUB」(サウナクラブ)ではフィンランド式テントサウナ®で、大自然の中で汗を流し、日々の疲れを癒せます。2021年4月からは手ぶらでキャンプが楽しめる「GLAMPING FIELD」(グランピングフィールド)がオープン、北欧の食事を楽しみながらサウナに入り、満天の星空の下で名栗の自然を満喫できます。

飯能の自然と北欧の文化

わたしのちょうどいいを見つける場所



気軽に登れて眺望良好

“遠足の聖地”としても親しまれています



Enjoy Hanno 05

天覧山

てんらんざん
Mt.Tenranzan

標高197mの天覧山。中腹まで道が舗装されているので登りやすく、ハイキングデビューにも、毎日の散歩にもおすすめです。頂上からの眺望はよく、飯能市街はもちろん、奥武蔵・奥多摩の山々のほか、遠く富士山を望むこともできます。春の桜、初夏のつつじ、秋の紅葉など一年を通じて観るものが多く、老若男女に親しまれています。市内や近隣市町村の小学校低学年の遠足でもよく利用される程よい低山です。

Enjoy Hanno 06

ハイキング

Hiking

市域の約75%を森林が占める飯能市では、至るところにハイキングコースが整備され、平日・休日問わず多くのハイカーでにぎわいます。市街地から少し足をのばすだけで、緑の山麓や清流に出会い、適度なアップダウンがある初心者向けの入門コースから、脚力に自信のある方におすすめの急なアップダウンのあるメリハリの効いた上級者向けのコースまで、さまざまなコースでハイキングを楽しめます。

最近では、山登りをテーマとしたアニメの舞台としても、人気を集めています。



日帰りで“大自然”を楽しむ

ウノタワ

Unotawa

入間川の源流には、美しい苔が一面に生える岩場が広がっており、しばらく進むと不思議なほどに大きな窪地が表れます。そこには、こんな伝説が――。昔、神の化身である鶺鴒を猟師が誤って撃ってしまったところ、沼もろとも消えてしまい、その跡にぽっかりと窪地ができたそうです。「鶺鴒の田」から、その空間はウノタワという名称で親しまれています。



苔だらけの岩場の先には、大きな窪地
伝説が語り継がれる不思議空間

飯能産の木材でカヌーを手づくり

地域の自然と仲良くなる、こんな方法も



名栗湖とカヌー

なぐりことかぬー
Lake Naguri and Canoeing

山深い名栗湖のほとりにたたずむ名栗カヌー工房。オリジナルカヌーをハンドメイド・オーダーできる施設です。カヌーの材料となるのは、良質な木材として知られる飯能産の「西川材」。このほかにも、手作り木工製品の購入や、本格的なカナディアンカヌーをレンタルし、隣接する名栗湖で体験することもできます。また、宮沢湖畔のメッツァビレッジ内に、姉妹施設の「ソグベルク」があり、カヌーのレンタルやさまざまな工作などのワークショップを楽しめます。

名栗カヌー工房でカヌー体験・製作！

自分だけのウッドカヌー！プロの指導を受けながら製作できます。デザインも自分次第。使用できるキットもバラエティ豊富です。





上って下って、景色を堪能
駅からのロングライドもおすすめ

Enjoy Hanno 09

サイクリング

Cycling

飯能市内では、サイクリングを楽しむ方が増えています。自然が豊かで、起伏に富んだ地形の飯能市は、自転車を走らせるには最適な環境といわれています。なかでも山や丘陵を走る「ヒルクライム」、坂や峠を下る「ダウンヒル」が人気。また、飯能

市は東西に長く、長距離を走る「ロングライド」もおすすめです。街道沿いのカフェや公衆トイレには、バイクラックを設置しているところが多く、飯能市のホームページには、バイクラックマップも掲載しています。

BBQ & Camping Kitchen 「Blue Tarp」

名栗エリアを楽しむ基地として、マウンテンバイク、BBQ用品、登山道具のレンタルができます。併設のカフェで食事もできます。



温泉につかりながら森林浴も
木のぬくもりに浸れる日帰り温泉

Enjoy Hanno 10

温泉

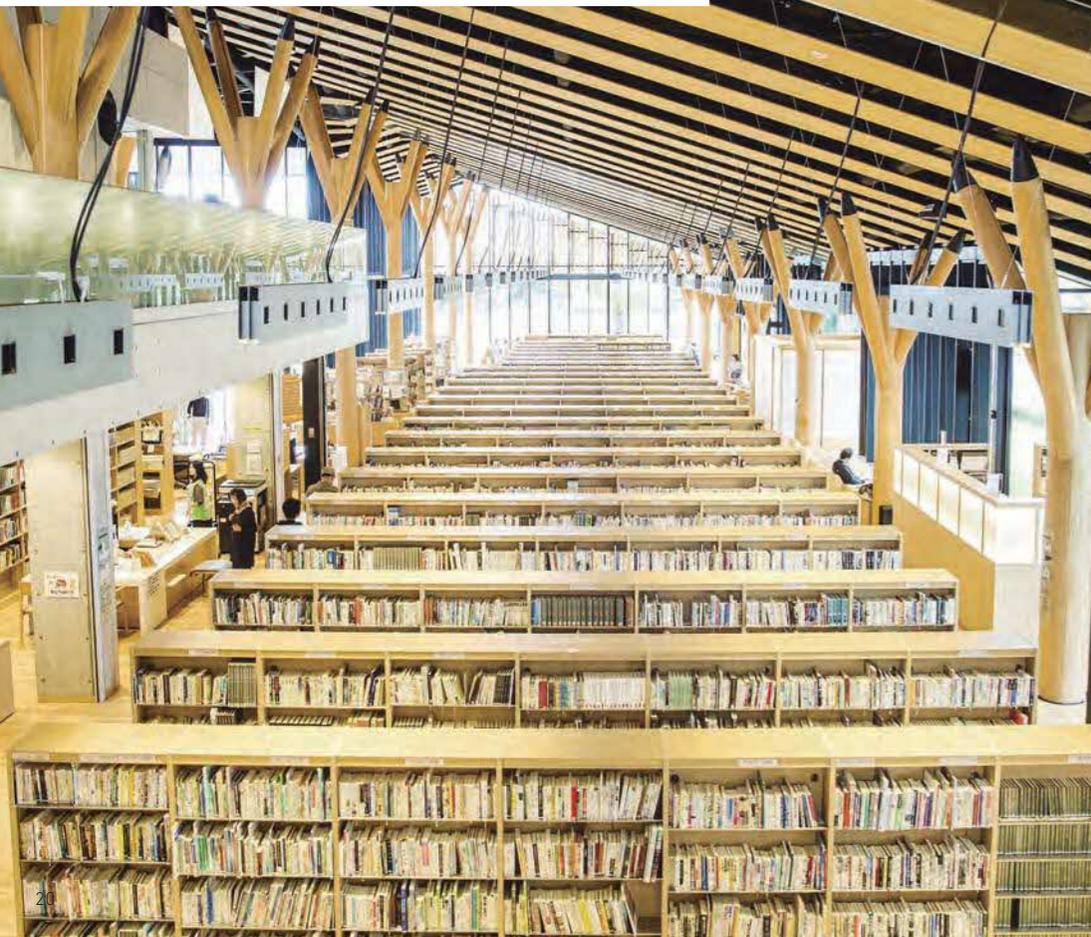
おんせん
Onsen

「名栗温泉さわらびの湯」は、入間川沿いにある市営の日帰り温泉。館内は杉やひのきがふんだんに使われ、地元産の木材である「西川材」の魅力を伝えています。吹き抜けのあるホールや周辺の山々を眺められる開放的な

ラウンジは、木のぬくもりを感じられる空間となっています。泉質は「美肌の湯」ともいわれるアルカリ性単純泉。体の芯から温まり、日々の疲れがとれると評判です。登山やサイクリングの立ち寄りスポットとしても人気！

森をイメージした館内

木々の間から陽の光りが降り注ぎます



Enjoy Hanno 11

図書館

としょかん
Library

大きな窓ガラスから明るい自然光が降り注ぐ、飯能市の図書館。

地元産の木材「西川材」の磨き丸太が天井まで伸びる館内は、樹木が林立する森をイメージしています。読書スペースや学習スペースが充実しているほか、乳幼児のための「はいはいコーナー」もあります。館内の至るところに、良質な「西川材」が使われ、落ち着いた雰囲気の中、読書に親しむことができます。



全国的にも珍しい、こども図書館



Enjoy Hanno 12

こども図書館

こどもとしょかん
Children's Library

乳幼児と一緒に安心して利用できるこども図書館は、全国的にも珍しい施設です。ログハウスのような外観で、飯能河原のほとりにひっそりとたたずんでいます。館内は木のぬくもりあふれる空間が広がり、絵本や紙芝居、児童書を中心に約6万冊を所蔵。図書館やボランティアグループによる、読み聞かせや工作教室、人形劇、パネルシアターなどが定期的開催され、利用者は本やイベントに親しみながら楽しく過ごせます。





歴史に学び自然に触れて
飯能の魅力を知る

Enjoy Hanno 13

博物館

はくぶつかん
Municipal Museum

歴史展示室、飯能と西川材、身近な自然の3つのコーナーからなる博物館。周辺の飯能河原や天覧山のビジターセンター的役割も。愛称の「きつとす」は、フィンランド語で「ありがとう」を意味する「キート

ス」をベースに、地域の自然・歴史、そして…来館者への感謝を表現。博物館主催の特別展や収蔵品展、社会科研究展、歴史や周辺の自然に関する学習会、講座、観察会などを開催しています。



木造
軍荼利明王立像
「高山不動」として知られる高貴山常楽院にまつられている像の複製。実物は国の重要文化財に指定されています。



人と地域と環境を、観光を通じて考える

Enjoy Hanno 14

エコツーリズム

Ecotourism

エコツーリズムとは、地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、保全につながっていくことを目指していく仕組みです。

飯能市では、住民の手によって企画・運営される多彩なエコツアーを開催。「地域の人が地域の言葉で地域を案内するツアー」は、リピーターが多いのが特長です。工夫を凝らした各ツアーでは、地域の魅力に間近

に触れることができ、通常の観光では体験できない心温まるおもてなしが待っています。

飯能まつり

はんのうまつり
Hanno Festival

毎年11月の第一土・日曜日に行われている一大イベント。11カ町の勇壮絢爛な山車や底抜け屋台が街中を練り歩き、にぎやかな屋台囃子が晩秋の奥武蔵に響き渡ります。提灯が灯る夜の引き合わせはまるで絵巻物を見るかのような美しさ。他にも、こども神輿、野外音楽会、パレード、よさこい、はしご乗りなどが各所で行われ、子どもから大人まで、誰もが楽しめる祭りです。

また、通りには露店が軒を連ね、商店街にある店舗の多くも出店し、地域グルメも盛りだくさん。食べ歩きが祭りのもう一つの楽しみになっています。



奥武蔵の晩秋を彩る勇壮絢爛な祭り
子どもから大人まで、みんなが楽しめる



1.



2.



3.



4.



9.



10.



11.



12.



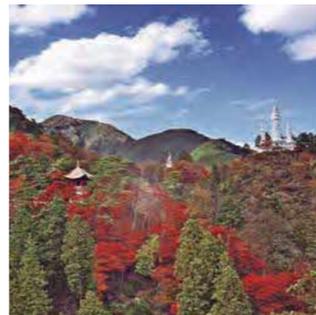
5.



6.



7.



8.



13.



14.



15.



16.

Enjoy Hanno 16

飯能市のイベント

はんのうしのイベント
Events

一年を通じて
祭り、スポーツ、グルメなど
特色あるイベントを開催しています

飯能市では、一年中さまざまなイベントが開催されています。春は飯能春まつりや飯能新緑ツーデーマーチ、夏は飯能夏まつりや飯能納涼花火大会、秋は飯能まつりやはんのう生活祭・西川材フェア、冬は奥む

さし駅伝競走大会や飯能ひな飾り展など、地域の奥深い歴史や自然の豊かさ、飯能の人々のあたたかさに触れられるものばかり。どの季節を切り取っても、特色あるイベントが行われていることが、魅力の一つ

となっています。

ホテルが観賞できたり、紅葉まつりがあったり、自然の豊かさを活かしたイベントが多いのも特長です。

1. 飯能新緑ツーデーマーチ
2. 飯能グリーンカーニバル
3. ホテル観賞の集い
4. 飯能夏まつり
5. ちびっこ金魚すくい大会
6. 飯能納涼花火大会
7. 飯能まつり
8. なぐり紅葉まつり
9. はんのう生活祭
10. 西川材フェア
11. 東郷公園もみじまつり
12. はんのうパンプエスタ
13. 奥むさし駅伝競走大会
14. 飯能ひな飾り展
15. 震災復興元気市
16. 飯能春まつり



多種多様なうどん
食べ比べも楽しい

Enjoy Hanno 17

武州飯能うどん

ぶしゅうはんのうどん
Bushu Hanno Udon

飯能地域は、扇状地の台地の上に発展し、水田耕作に適した土地が少なかったこともあり、古くは小麦の栽培が盛んでした。そのため、多くの家庭で、地粉を用いた手打ちうどんを食べる習慣がありました。

その習慣は現在まで受け継がれ、市内には至るところにうどん店があります。コシの強い噛み応えのある麺を豚肉の入ったつけ汁につけて食べるスタイルが、武州飯能うどんの定番です。



1.



2.



3.



4.



5.



6.



7.



8.

1.2. 浅見茶屋 3.4. お寺うどん 5.6. 古久や
7. 岩咲和 8. せいitarou

飯能市のお店

はんのうしのおみせ
Popular Hanno Gourmet and Shops

個性あふれる魅力的な店たち どこへいっても楽しめます

市街地から比較的近い場所に豊かな自然が広がる飯能市。そんな環境の良さが注目され、近年、個性豊かなカフェやレストラン、雑貨店、ギャラリーなどの出店が増えていま

す。市街地を散歩していると、いつのまにかできた新しいお店を見つけることもしばしば。レトロな街並みには風格漂う老舗やリノベーションしたアトリエなどが点在し、独特の

ノスタルジックな風景。ふらっと歩いても、ドライブでも、食べ歩きやカフェめぐり、雑貨店めぐりが楽しめます。

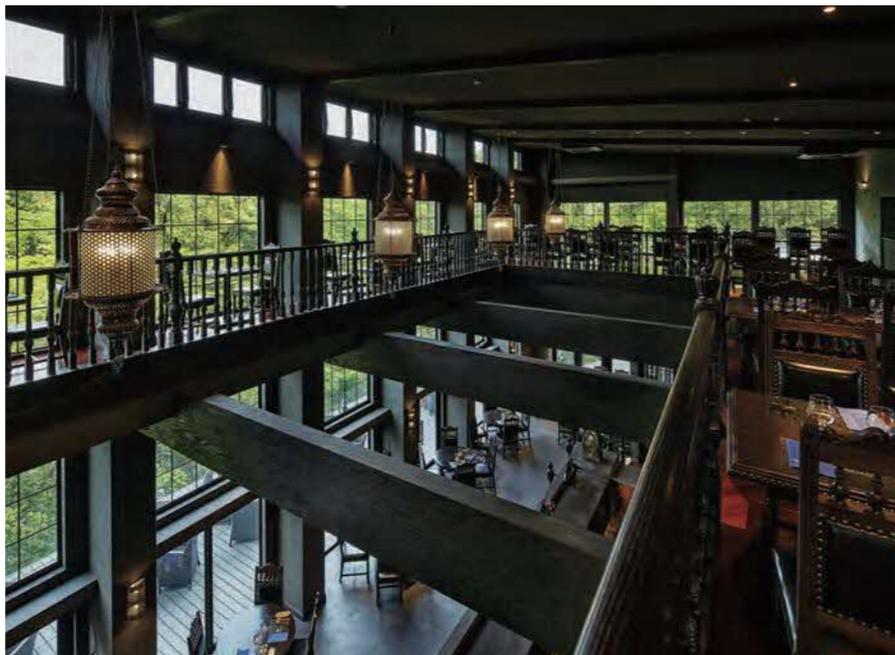
- 1.草風庵 蔵カフェ 2.大里屋(四里餅)
- 3.4.5.CARVAAN 6.AKAI FACTORY
- 7.Cafe&Restaurant Hot Pot
- 8.9.五十嵐酒造 10.江州屋
- 11.WINE SHOP FUKASHIN
- 12.George's BARGER 13.Bookmark



1.



2.



5.



6.



7.



8.



9.



3.



4.



10.



11.



12.



13.



1.



2.



3.



4.



5.



6.



7.



8.

Enjoy Hanno 19

さまざまな公園

さまざまなこうえん
Parks and Playgrounds

飯能市内には、31の公園のほか、各地域に児童遊園もあります。北欧をイメージした公園(p8・p9参照)や、山の高低差を利用した大きな滑り台がある公園、晴れた日には遠く富士山やスカイツリーが見渡せる公園など、豊かな自然環境を上手く活用した魅力あふれる公園が点在しています。

また、中心市街地にも小さい子どもが遊ぶには最適な緑あふれる公園が各所にあり、近隣住民の憩いの場としても、毎日の散歩コースとしても広く親しまれています。

遊んだり、くつろいだり
過ごし方もいろいろ

1.2.3. あざひ山展望公園
4.5. 阿須運動公園 6.7. 中央公園
8. 龍崖山公園

新しい特急

あたらしいとっきゅう
Laview

平成31年3月から西武池袋線で運行を開始した新型特急車両「Laview(ラビュー)」。

「Laview」は、建築家・妹島和世氏監修のもと、外観・内観ともに「今までに見たことのない新しい車両」が形となった、まったく新しい特急車両。先頭車両の球面形状や客室の車窓の風景を一新させる大型窓、周囲の風景がほどよく映り込むシルバーの車体が特長です。

都市や自然の中でやわらかく風景に溶け込む特急車両での旅を楽しめます。

今までになかった

まったく新しい特急車両



新しい飯能駅

あたらしいはんのうえき
Hanno Station

「ムーミン」の世界や北欧のライフスタイルを体験できるテーマパーク「メッツァ」の最寄駅である飯能駅。自然あふれる飯能エリアの玄関口にふさわしい駅へとリニューアルしました。

飯能駅のリニューアルにあたり、「飯能」とムーミン発祥の地である「フィンランド」の要素を掛け合わせた「本物のフィンランドデザイン」を取り入れるため、フィンランド国内のデザイナーを対象に「飯能駅リニューアルデザインコンペ」を、平成29年度に西武鉄道株式会社がフィンランド大使館と共催で実施し、最優秀デザインに基づきリニューアル。各ホームのデザインはフィンランドの季節を表現しており、駅構内の鳥の群れは出口へのサインだとか。本物のフィンランドデザインに生まれ変わった飯能駅へぜひお越しください。



水と緑の玄関口が

本物のフィンランドデザインにリニューアル



自然と共に学び、ICTを活用した豊かな教育環境

奥武蔵創造学園 飯能市立奥武蔵小学校 飯能市立奥武蔵中学校

おくむさしそぞうがくえん
はんのうしりつおくむさししょうがっこう
はんのうしりつおくむさしちゅうがっこう
Okumusashi Sozogakuen

平成31年4月、東吾野小学校、西川小学校、吾野小学校の3つの小学校を統合し、西川小学校および吾野中学校の施設を活用した施設隣接型小中一貫校「奥武蔵創造学園」を開校しました。

この小中一貫教育校の設置は飯能市としては初めてであり、小中一貫教育を進める上でのモデルケースと位置付けています。豊かな自然の

中でタブレットなどの最先端の機器を活用した授業に取り組むとともに地域の人材を生かした「魅力ある学校」づくりに取り組みます。そして、子どもたちが学び育ち合うことはもとより、教師たちも専門家として学び合い、また、保護者や地域も教育に参画して学び育ち合う学校づくりを推進していきます。

奥武蔵創造学園
校章

奥武蔵創造学園の校章は「奥武蔵の山々」「杉・ひのき(西川材)」「高麗川の清流」を描き、自然豊かな「奥武蔵」の地を表現しています。



飯能市の子育て

はんのうしのこぞだて
Child Care

飯能市では、妊娠を望む夫婦、妊娠中、子育て中の家族を対象に、妊娠前から子育て時期まで切れ目ない支援を行う「Meets!×子育てスマイルプロジェクト」を実施しています。

このプロジェクトは、不妊・不育症検査・治療を希望する夫婦に費用の一部を独自に助成する「コウノトリ事業」、0歳児を育てている保護者

に育児用品の購入に使える年間5万円分のクーポン券を支給する「赤ちゃんスマイル」、母子健康手帳を交付し妊娠期から子育て期にわたり、母子やその家族を切れ目なく支援する「子育て世代包括支援センター」の3つの事業を中心に構成。

経済面と精神面の二軸から子育てを支援しています。

子どもの健康を願って

子どもの健康をサポートするため、子ども医療費は0歳～中学3年生まで、インフルエンザ予防接種費用は生後6ヶ月～中学3年生まで無料です。



Meets!×子育てスマイルプロジェクト

“農のある暮らし” 「飯能住まい」

のうのあるくらし はんのうずまい
Hanno Zumai

“農のある暮らし”「飯能住まい」は、エコツアーによる農業体験から家庭菜園、市民農園、本格的な農業まで、さまざまなプログラムにより、南高麗地区での“農のある暮らし”をサポートする移住制度です。

この制度の最大の魅力は、立地や自然環境を活かして、平日は始発駅からゆったり座って都内へ通勤し、休日は豊かな自然に囲まれて田舎暮らしを満喫できること。子育てファミリーには最適な環境で、すでに“半農ライフ”を始めている方は、22世帯70人を超えています。



気軽に移住できる、飯能住まい



憧れの暮らし、実現します!

“農のある暮らし”「飯能住まい」なら豊かな自然に囲まれた環境の中で薪ストーブのある家やログハウスなど、憧れの暮らしが……。地元の人たちや、すでに移住した人たちとの交流もでき、安心してゆったりした暮らしが送れます。



起業・創業 支援

きぎょう・そうぎょうしえん
Start-ups Support

飯能市は、地域経済の活性化や雇用の創出、商工業の振興につなげるため、市内で起業・創業する方をさまざまな形でサポートしています。

法人を設立する際の諸費用、個人事業主が起業・創業する際に必要な設備・備品等の費用や広報費に対し「飯能市創業支援補助金」を交付しています。

また、出店に係る店舗の新築や改修等の工事費に対しては「新規出店促進事業補助金」も交付。さらに「はんのう起業プラットフォーム」では、ワンストップ相談窓口や専門家による個別相談、起業セミナー等を実施し、起業・創業を後押ししています。

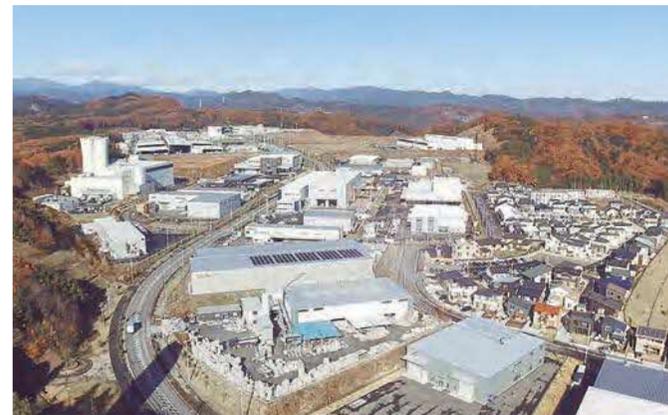
新しいお店が続々

はじめるなら、飯能で



飯能大河原工業団地

はんのうおかわらこうぎょうだんち
Hanno Okawara Industrial Park



地盤が強固・飯能大河原工業団地

圏央道狭山日高インターチェンジ、青梅インターチェンジからそれぞれ約9kmの距離に位置し、周りは山々に囲まれ地質的にその大部分が強固な地層から成り立っていることから、地震に対する安全性が高く企業立地に適した工業団地です。面積は約72haで首都圏最大級です。

31社が立地(立地率100%)しており、製造業を中心にリース業、食品加工業など多様な企業が操業しています。今後も、操業を開始する企業が増えることから、市全域への経済波及効果による産業の振興、雇用の創出、地域の活性化が期待されています。

暮らしを支える

くらしをささげる
Hanno City Infrastructure

快適な 暮らしのために 美しいまちのために

飯能市には市民の暮らしを支えるさまざまな施設があります。ごみを適切に処理し、リサイクルするクリーンセンター、河川の水を取水して水道水にする市内5か所の浄水場(小岩井、本郷、両吾野、上吾野、名栗)、

流入した汚水を微生物の力できれいな水にして再び河川へ戻す2か所の浄化センター(征矢町、原市場)、し尿を処理する環境センターなど、快適な暮らしのためにそれぞれ大切な役割を担っています。

1.2.3. クリーンセンター 4. 小岩井取水場
5. 小岩井浄水場 6. 浄化センター (征矢町)
7. 環境センター



1.



2.



3.



4.



6.



5.



7.

西川材

にしかわざい
Nishikawazai

埼玉県南西部、荒川支流の入間川・高麗川・越辺川の流域は、西川林業地と呼ばれています。

江戸時代、この地方から木材をいかだで江戸へ流送していたことから「江戸の西の川からくる木材」という意味で「西川材」と呼ばれるようになりました。

この地域の風土が杉やひのきの生育に適しているとともに、人々が丁寧に手入れを重ねてきたことにより「西川材」は木材の色、艶が良く、年輪が緻密で節の少ない木材として知られています。

「西川材」は柱や梁などの建築用材

のほか、美しい木目を生かした木工製品や内装材などにも使われています。

戦後の拡大造林期から50年以上が経過した今、植林した木は成熟期を迎え、一般家屋はもちろん、図書館や学校、ベンチなど幅広く活用されています。



江戸から続く良質な木材
上質で緻密な年輪が特長です

飯能市の文化財・史跡

はんのうしのぶんかざい・しせき
Cultural Properties of Hanno City

歴史を知る、飯能を知る

文化財は、長い歴史の中で生まれ、人とともに生まれ、今日まで守り伝えられてきた人類の財産です。

歴史や文化などの正しい理解のために欠くことのできないものであり、また将来の文化の向上発展の基

礎を成すものとして、大切に保存・保護されています。

飯能市には国指定の文化財が3件、埼玉県指定の文化財が32件、飯能市指定の文化財が68件あります。



1.



3.



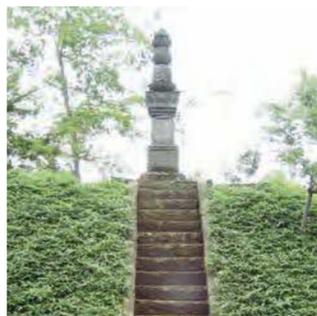
4.



2.



5.



6.



7.



8.



9.



10.



11.



12.

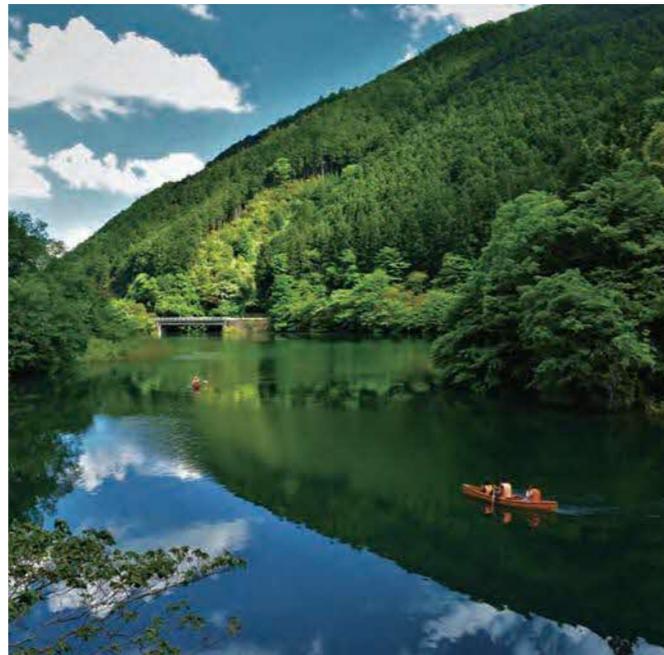
- 1.「福德寺阿弥陀堂」国指定重要文化財
- 2.「高山不動の大イチョウ」(常楽院) 県指定文化財
- 3.「木造軍荼利明王立像」(常楽院) 国指定重要文化財
- 4.「常楽院不動堂」県指定文化財
- 5.「長光寺三門」市指定文化財
- 6.「中山信吉墓」(智観寺) 県指定文化財
- 7.「店蔵綱墓」市指定文化財
- 8.「名栗川橋」県指定文化財
- 9.「長光寺本堂」県指定文化財
- 10.「能仁寺庭園」市指定文化財
- 11.「飯能織物協同組合事務所棟」国登録有形文化財
- 12.「下名栗の獅子舞」県指定文化財



1.



2.



5.



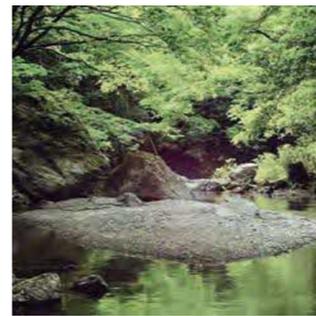
3.



4.



6.



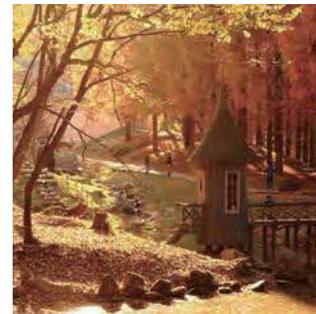
10.



7.



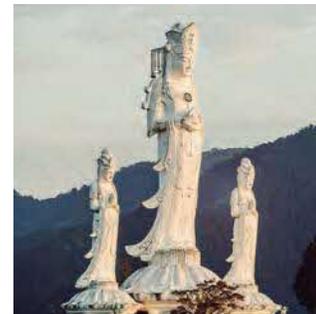
11.



8.



12.



9.



13.

Know Hanno 03

飯能市の見どころ

はんのうしのみどころ
Highlights of Hanno City

カメラを持って
訪れてみたい…
飯能の“映え”スポット

飯能市には見どころがたくさんあります。観光名所となっている古刹や自然が織り成す美しい景色、自然と調和しながらも個性的な建物。どのスポットもカメラを持って訪

れてほしいフォトジェニックな見どころです。写真を撮ったらぜひ、じっくりと観賞してみてください。奥深い飯能の良さを感じていただくと

1.2.3. 子ノ権現天龍寺 4. 阿須の鉄橋
5. 名栗湖 6. 観音寺 7. ドレミファ橋(吾妻峡)
8. トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園
9. 鳥居観音 10. 吾妻峡 11. ウノタワ
12. 竹寺 13. 図書館

ホッケー

Hockey

飯能市では、昭和42年に埼玉国体ホッケー競技の会場となったことを契機に、ホッケーが盛んになりました。市内には3カ所の人工芝コートがあり、ホッケーに取り組みやすい環境が整い、年間を通じてたくさんの試合が行われています。また、飯能市の職員として働きながらホッケー男子日本代表として活躍する北里謙治選手をはじめ、市内から輩出した数々の日本代表選手が多くの子どもたちに夢を与えています。現在、飯能市では、小・中学校の授業にホッケーを取り入れるなど、ホッケー人口の拡大に向けた事業に力を入れています。

ホッケーのまち飯能



地域とともに歩む 飯能市を練習拠点に活躍する 女子プロサッカークラブ

©ちふれASエルフェン埼玉

ちふれAS エルフェン埼玉

ちふれえーえす えるふえんさいたま
Chifure AS Elfen Saitama

ちふれASエルフェン埼玉は飯能市茜台を練習拠点に活動する女子プロサッカークラブ。2021年9月開幕の日本で初めてとなる女子サッカーのプロリーグ、「WEリーグ」に参加します。飯能市は、平成29年にち

ふれASエルフェン埼玉が所属する株式会社エルフェンスポーツクラブと、スポーツ振興や青少年の健全育成、地域振興などを目的に連携協力に関する基本協定を締結しました。以来、選手が飯能市のさまざま

なイベントに参加したり、飯能市がちふれASエルフェン埼玉の情報をPRしたり、多岐にわたって連携・協働しています。

森林文化都市宣言 平和都市宣言

しんりんぶんかとしせんげん・へいわとしせんげん
Declarations of Hanno City

飯能市では歴史的な背景や地域の特性を生かし、平成17年4月1日に「森林文化都市」を宣言しました。この宣言が、飯能市への誇りや新たな創造性を高め、将来にわたって継承されていくことを願っています。

また、平成31年3月16日に「飯能市平和都市宣言」を制定。平和に対する決意を市内外に広く表明することで、改めて平和の大切さを認識するとともに、平和な社会の実現を目指すことで世界の恒久平和に貢献します。

飯能市イメージキャラクター 夢馬(むーま)

西川材で作られた世界最大とギネス社から認定された木馬(実存)が妖精に。耳には木の年輪、背中には木の葉をかたどった羽根がありません。永遠の三歳の男の子。



第5次飯能市 総合振興計画

だいごじはんのうしそごうしんこうけいかく
The Fifth Plan of City Promotion

第5次飯能市総合振興計画とは、人口減少、超高齢化等の課題に対し、喫緊な対応と中長期的な展望・戦略を携え、「変える10年！変わる10年！飯能市から始まる日本の創生」を合言葉に、まちづくりに取り組むための羅針盤です。

「水と緑の玄関口“はんのう”」として、また、豊かな時間が流れる交流拠点として、いきいきした子どもから高齢者まですべての市民が健康で活動し、経済・産業が好循環するまちづくりを市民の皆様とともに進めていきます。



Meets!xHanno

飯能市に住んでいる人も、来たことがある人も、知っている人も飯能市で何かに出会うことで、新しい体験をしてほしい。来たことがない人は来ること、知らない人は知ること、少しでも新しい出会いがあるかもしれない。さあ！出会う！

About Hanno 03

Meets!xHanno

みーつはんのう
Slogan of Promotions

シティプロモーションのスローガン「Meets!xHanno」には、飯能市で新しい発見や出会いを体験してほしいという思いが込められています。「Meets!xしぜん」「Meets!x子育て」「Meets!x遊び」「Meets!xにぎわい」で構成されている、飯能市

のプロモーション動画も公開しています。また、「Meets!x子育て スマイルプロジェクト」として、子育てにかかわるすべての保護者・子どもに笑顔があふれるように、飯能市がサポートするプロジェクトも進めています。ぜひ、飯能市で新しい体験を！

About Hanno 04

情報発信

じょうほうはっしん
Communication and Promotion

飯能市のことをもっと知ってほしい…もっと身近な存在でいたい、そんな思いで飯能市は情報発信に力を入れています。

1. [ホームページ]

トップによく使う情報をタイル状にして配置。使いやすさを追求しています。

2. [SNS]

twitter, facebook, Instagramを運用。twitterでは広報、観光、防災などのアカウント、facebookは市長ブログやイベント情報、Instagramはフォトスポットなどを発信しています。

3. [飯能市ご当地アプリ]

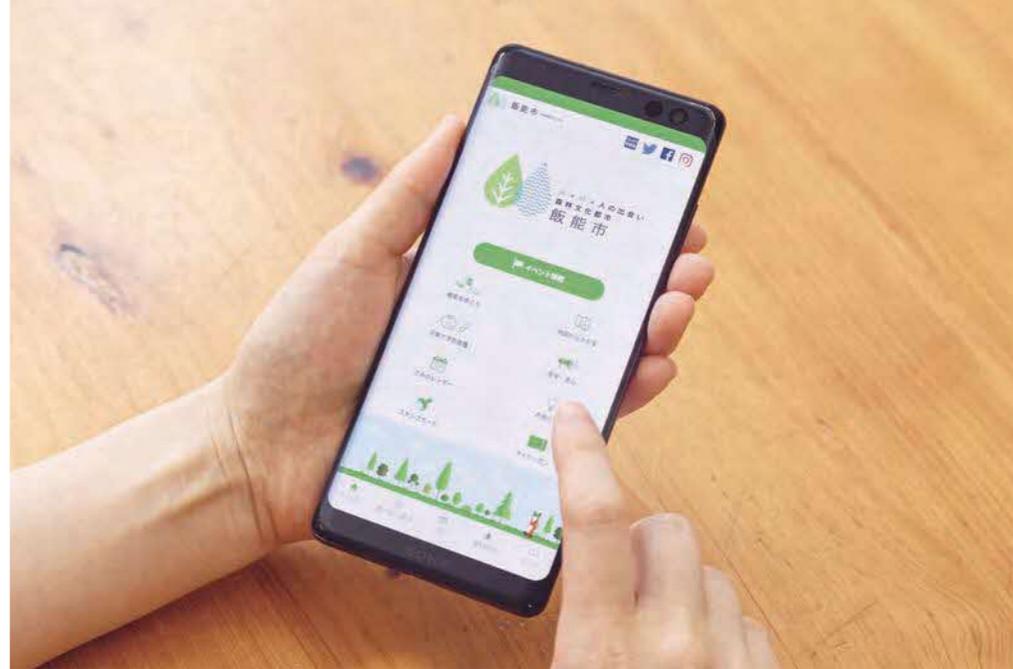
飯能市の情報満載の公式アプリ。スタンプラリーやスクラッチなどのアプリイベントも実施しています。



Android版



iPhone版



3.



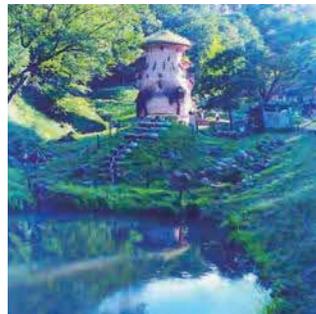
1.



2.



2.



1.



2.



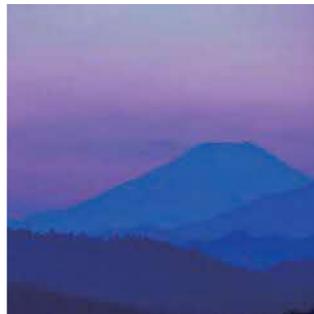
3.



4.



8.



9.



10.



11.

About Hanno 05

Instagram #meets_hanno

はっしゅたぐみーつはんのう

飯能市では、みなさんが見つけた「私だけの飯能」や「飯能のいいところ」をInstagramで「#meets_hanno」を付けて発信していただいています。ぜひ「#meets_hanno」で投稿してください。



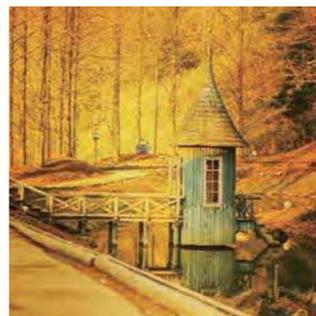
5.



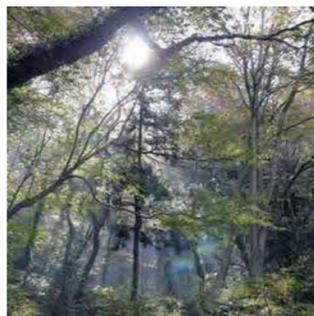
6.



7.



12.



13.



14.



15.

📍…位置情報

- 1. @variostor 📍 トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園
- 2. @821_kp 📍 メッツァビレッジ
- 3. @shimachan0525 📍 メッツァビレッジ
- 4. @shigeru0209 📍 メッツァ
- 5. @pontequesto8410 📍 阿須運動公園
- 6. @hiroshi6854 📍 秩父御嶽山神社

- 7. @sai_stagl 📍 Hanno, Saitama
- 8. @yamanoko62 📍 Hanno, Saitama
- 9. @tomodesutomodesu 📍 あさひ山展望公園
- 10. @kmat8 📍 トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園
- 11. @uco_3110 📍 飯能駅

- 12. @yodimi7 📍 トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園
- 13. @yuka_soo_jh 📍 不明
- 14. @noboru.ito 📍 名栗湖 カヌー工房
- 15. @akko4.yamasaki 📍 不明

※すべてInstagramより転載

都市間交流

としかんこうりゅう
Inter-city Exchanges

飯能市は、親善や文化交流、相互支援を目的とし、国内外のさまざまな都市と交流を図っています。

飯能市の都市間交流

1. プレア市
(アメリカ合衆国カリフォルニア州)
1981年1月5日 姉妹都市締結
2. 埼玉県西部地域まちづくり協議会
「ダイヤプラン」
(所沢市、狭山市、入間市、日高市)
1988年8月発足
3. 高萩市(茨城県)
2003年11月1日 友好都市締結
4. 西武線沿線サミット
(豊島区、所沢市、秩父市、横瀬町、
西武鉄道株式会社)
2012年5月20日協定締結
5. 横浜市中区(神奈川県)
2014年3月9日 友好交流協定締結
6. 墨田区(東京都)
2017年12月22日
災害時における相互援助に関する協定締結



1.



2.



3.



4.



5.



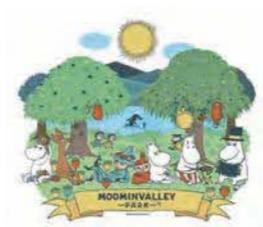
6.

ふるさと納税

ふるさとのうぜい
Furusato Nozei

寄附金で
地域を応援
返礼品は
飯能市の特産品が
そろっています。

飯能市では、ふるさと納税制度で飯能市を応援してくださる方の寄附を地域活性化に活用しています。また、寄附をしてくださった方には、ふるさと納税限定のオリジナルムーミングッズをはじめ、市の豊かな自然を体験し、魅力を感じていただける返礼品を贈呈しています。



1.



5.



9.



2.



6.



10.



3.



7.



11.



4.



8.



12.

1. ムーミンバレーパーク 入園チケット
2. 皆川明氏デザイン監修ウールブランケット
3. ちふれグループの化粧品
4. 地元産「西川材」を使った工芸品
5. 埼玉県産ブランド米「彩のぎずな」
- 6.7. 飯能の自然が育んだ果実
- 8.9.10.11 地元自慢のグルメ
12. 首都圏有数のゴルフスポットならではのプレー券

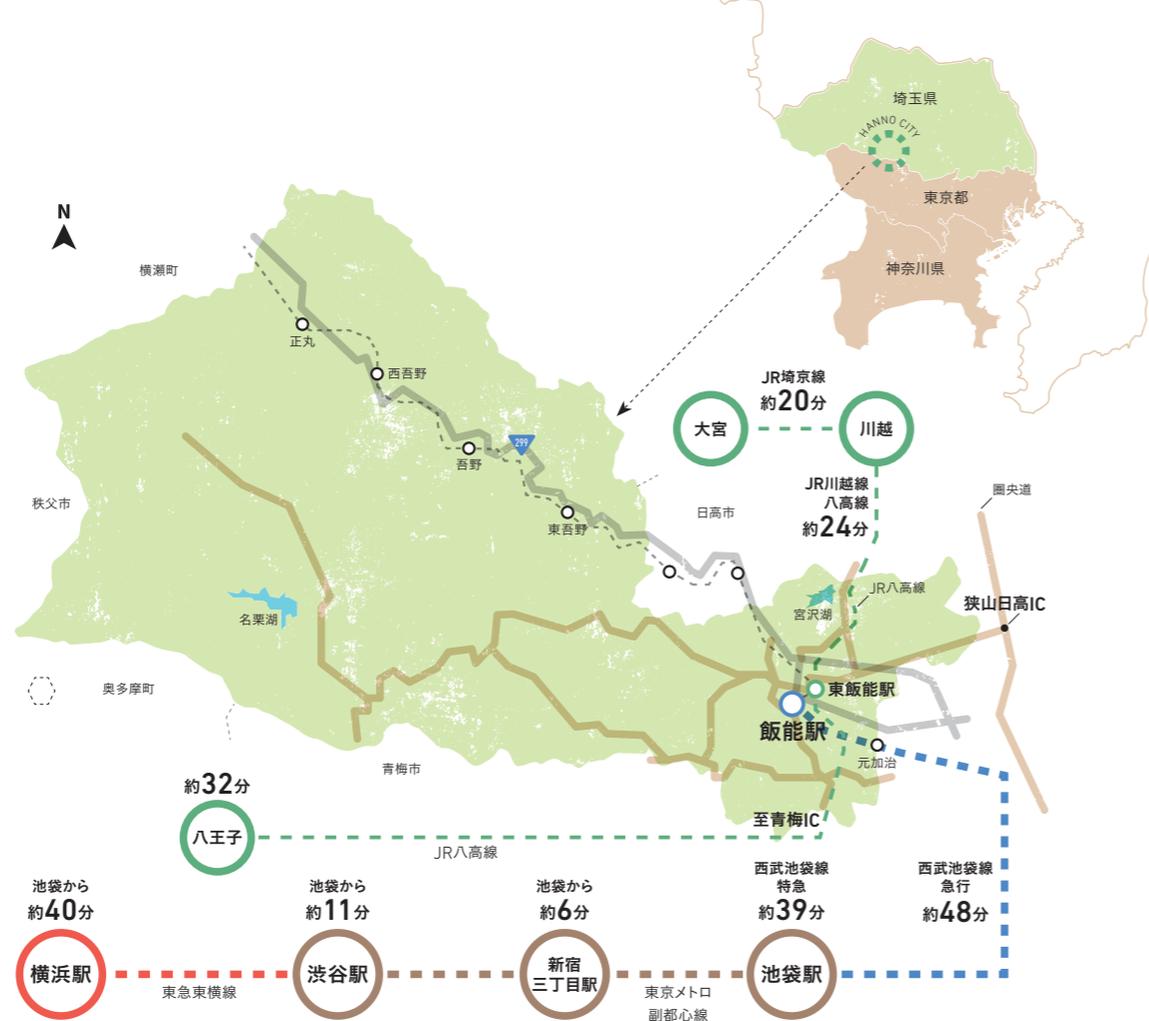
飯能市のアクセス

はんのうしのあくせす
Access

飯能市は東京都内への交通アクセスがとても便利。西武池袋線「池袋行き」などの始発駅である飯能駅から池袋駅まで特急で約39分、急行で約48分。東京メトロ副都心線に乗り入れているため、新宿・渋谷・横浜まで乗り換えなしで行けます。始発駅なのでゆったり座って都内への通勤が可能です。

東飯能駅からはJR八高線で八王子駅まで約32分、川越駅まで約24分。

圏央道狭山日高IC・青梅ICにも近接しているので車もアクセス良好で休日も出かけやすいといわれています。



※表示時間は最短のもの

飯能市のデータ

はんのうしのでーた
Numbers of Hanno City

飯能市は埼玉県の南西部に位置し、都心から約50km圏内という交通アクセス良好な環境にありながら、緑と清流という自然に恵まれたまちです。北西部は山地で、市域の約75%を森林が占めています。南東部は丘陵地および台地で、北の高麗丘陵と南の加治丘陵の間の台地部分に市街地が発達しています。さらに、入間川、高麗川の一級河川が、西部山地から東部台地へと流下しています。

昭和29年に県下9番目の市制を施行。平成17年には名栗村と合併。県内3番目という広大な面積を持つ市となりました。

※「一戸建て持ち家率」は平成27年国勢調査
「1人当たりの公園面積」は飯能市道路公園課公園面積より算出
その他は令和元年度版 統計はんのう

人口

78,970人

令和3年3月1日時点

世帯数

35,427世帯

令和3年3月1日時点

面積

193.05 km²

世帯人員

2.3人
/1世帯あたり

令和2年1月1日時点

平均年齢

48.5歳

令和2年1月1日時点

人口密度

412人
/1km²あたり

令和2年1月1日時点

転入
転出

7.9人/1日
7.1人/1日

出生
死亡

1.2人/1日
2.4人/1日

鉄道
乗降客数

市内6駅合計
51,333人/1日平均

一戸建て
持ち家率

65%

自動車
所有率

68%

1人当たりの
公園面積

15.2 m²

飯能市のあゆみ

はんのうしのあゆみ
History

- 1882年 飯能・久下分・真能寺の3か村が合併し飯能町となる
- 1943年 南高麗村・加治村・元加治村・精明村が飯能町と合併
- 1954年 埼玉県下9番目の市制施行
- 1956年 原市場村・東吾野村・吾野村を編入合併
- 1967年 埼玉国体会場となる(ホッケー、レスリング)
- 1972年 市役所本庁舎完成
- 1982年 正丸トンネル開通
- 1985年 有間ダム完成
- 2003年 市制施行50周年記念式典
- 2004年 環境省からエコツーリズム推進モデル地区に指定される
彩の国まごころ国体ホッケー競技大会開催
- 2005年 名栗村と合併
森林文化都市宣言
- 2007年 市役所本庁舎別館完成
- 2008年 エコツーリズム大賞受賞(環境省、日本エコツーリズム協会選出)
- 2011年 森林文化都市サミット開催
- 2012年 各地区行政センター開設、西武線沿線サミット開催
- 2013年 飯能市立図書館完成(林野庁長官賞受賞)
- 2014年 市制施行60周年記念式典
飯能×よしもとワクワクするまちづくりプロジェクト実施
- 2015年 大河原工業団地企業立地率100%達成
- 2016年 “農のある暮らし”「飯能住まい」制度施行
フィンランド共和国駐日大使と在日フィンランド商工会議所が飯能市を視察
- 2017年 エコツーリズム特別継続賞受賞(環境省、日本エコツーリズム協会選出)
- 2018年 宮沢湖にメッツァビレッジがオープン
- 2019年 宮沢湖にムーミンバレーパークがオープン
平和都市宣言
- 2020年 ノーラ名栗がオープン

飯能市のシンボル

はんのうしのしんぼる
Symbol



市章

中央にカタカナの「ハ」「シ」を置き、3方に「ノ」、外側に「ウ」を配しています。



シンボルマーク

「HANNO」の頭文字、「H」をモチーフにして、緑豊かな森林、青は清らかな川の流れ、それらを囲む黄のた円は豊かな自然を守り伝えていく人々の輪を表し、赤は活力ある市民の熱い心を表しています。そして、躍動感あふれる人の形は市のさらなる飛躍を象徴しています。



市の花 つつじ



市の鳥 うぐいす



市の木 すぎ

市民の皆様とともにつくる飯能市

飯能市長 新井重治

